

新基地建設反対名護共同センターニュース

設計変更申請中でも新基地工事強行

K9 護岸で台船からダンプに赤土を積み込む作業中。ダンプが数珠つなぎで待機



K9 護岸



着岸待ちする赤土を積んだ台船

名護共同センターのスタッフは8月21日(金)、抗議船・平和丸に乗船。辺野古沿岸へ大浦湾へK9護岸まで約1時間半、現場を視察した。本紙上で再現する。8時30分、辺野古漁港出港。護岸を3層もかさ上げ工事のK2護岸へ。ゲートからミキサー車数十台も生コンを運んでいたが基地内でこれを造っていたのかと怒りが湧く。K4護岸付近ではさまよっているウミガメを発見。K8護岸ではダンプが赤土をせっせと埋立区域に運んでいた。大浦湾では大型運搬船や赤土を山積みした台船、ジューゴン調査船など確認。K9護岸では10数台のダンプカーが数珠つなぎ。台船から赤土を積み替え辺野古の海に次々と投下している。本部の山を壊した赤土を美ら海に投げ込んでいるのだ。現場でのさまざまな自然破壊の連鎖に胸が痛む。

新基地建設の現場は自然破壊の連鎖

防衛局が県に申請した計画変更点と護岸周辺の現状写真(平和丸から8月21日)



赤土を台船に移し替えた運搬船

安和鉱山から赤土を運んできた大型運搬船が6隻停泊していた。



K2 護岸



K4 護岸



K8 護岸

K2 護岸で3層ものブロックで護岸のかさ上げ工事中。約1kmのK4護岸はウミガメを追い返していた。K8護岸では赤土をダンプが運搬中。

コロナ禍での新基地反対のたたかい強化をへり基地反対協が総会



へり基地反対協議会は25日、名護市内で20年度の定期総会を開催。安次富浩共同代表が「長い闘いだがへり基地反対協の役割がますます重要になっている」とあいさつ。仲本興真事務局長が「コロナ禍の中でこそ新基地反対のたたかいを強め、安倍政権に勝利し、沖縄から日本を変えよう」と方針提案、全会一致で運動方針と新役員を決定しました。

【選出された主な役員】

共同代表・安次富浩、事務局長・仲本興真、同次長・中村善幸、東恩納琢磨、吉井俊平、浦島悦子。

【訂正】先週 SNS で発信した前号ニュースで治安維持同盟総会の記事で、アララギ派の歌人土田文明となっていたが、正しくは土屋文明でした。お詫びして訂正します。

辺野古新基地建設事業・公有水面埋立 変更承認申請に係る意見書

沖縄県知事 玉城デニー様

提出者 住所 年 月 日

氏名

電話

【利害関係の内容】

【意見】 沖縄県知事は、今回の「設計概要変更承認申請」を不承認としてください

【理由】

沖縄県への意見書提出運動にご参加を！

沖縄県は緊急事態宣言解除後、防衛局からの「変更承認申請」の告示・縦覧を開始する方針です。この縦覧期間中の3週間以内に利害関係者からの意見書を受け付けます(消印有効)。封書でもハガキでも可。利害関係者と思う全国の個人や団体が提出できます。

【宛先】〒900-08570 那覇市泉崎1丁目2-2 沖縄県土木建築部海岸防災課御中